

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	心理演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	今原栄子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 企業や福祉サービスなどの現場において心理的な支援とは何かを多面的に学びます。本科目はさまざまな分野での専門職である複数の教師が担当いたします。講師一同、傾聴、共感をベースにして学生と向き合い、学生が気づきを得て成長できるように見守り、指導して行く所存です。授業では対人関係に必要なコミュニケーションをグループワークを通して学習して行きます。						
《成績評価の方法と基準》 試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 関連資料を配布致します。						
《授業外における学習方法》 授業で配布されたレジュメや資料を参考に、復讐として振り返り、できれば文章化してください。疑問や質問、印象に残ったことがあれば、次回の授業の時に浩司へ伝えてもらえると、より深い学びとなるでしょう。						
《履修に当たっての留意点》 心理的な支援の現場において、支援者の一言で相手の話が深まるかどうか大きく左右されます。授業等してそのセンスを磨く意識を持っていただければと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。	
		各コマにおける授業予定	自己と他者との交流パターン(人間関係)に着目することで人間関係の改善や、自律的な生き方、自己実現について学ぶ。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析 ② 自我状態の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。	
		各コマにおける授業予定	エゴグラムで、親、成人、子供の3つの自我状態を分析し、自分の思考や行動の特徴を把握する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析 ③ 対話分析 の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。	
		各コマにおける授業予定	対話のパターンを理解し、自分自身の対話パターンを分析する。グループワークを通じて、より良い対話のパターンを考える。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析 ④ ストローク の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。	
		各コマにおける授業予定	ストロークは「他者との関わり」のことをいい、肯定的ストロークと否定的ストロークの2種類がある。グループワークによって、自分のストローク授受の改善法を考える。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析⑤ 自分の生き方の癖に気づけるようになる。		講義を通して感じたこ	

5 回	百 形 式	各コマに おける 授業予定	チェックリストを使って自分を苦しめる生き方の癖に気づく。 グループワークを通じて、改善方法を考察する。	資料配布	と、疑問に思ったことを 考える。
--------	-------------	---------------------	--	------	---------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析 ⑥ ゲーム分析 の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	同じ人と何度も良くないやり取りを繰り返してしまつた状態を、心理ゲームといいます。心理ゲームを学び、こじれた対人関係から抜け出す方法をグループで考察します		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析 ⑦ 人生脚本 の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	自分の生き方の基になっている考え方を振り返り、より良く生きるための改善法を考える。時間の過ごし方のカテゴリーを知り、有益な時間を過ごす方法を考える。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の理解と実践ができるようになる。 ①	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	実際にひとりひとりが箱庭を置き、周りの観察者がそれについて感想を述べ合う。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の理解と実践ができるようになる。 ②	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	実際にひとりひとりが箱庭を置き、周りの観察者がそれについて感想を述べ合う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の理解と実践ができるようになる。 ③	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	実際にひとりひとりが箱庭を置き、周りの観察者がそれについて感想を述べ合う。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の理解と実践ができるようになる。 ④	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	箱庭療法の理論を学び、実際に自分たちの置いた箱庭を分析してみる。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の理解と実践ができるようになる。 ⑤	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	箱庭療法の理論を学び、実際に自分たちの置いた箱庭を分析してみる。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法 の理解と実践ができるようになる。 ⑥	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	箱庭療法の理論を学び、実際に自分たちの置いた箱庭を分析してみる。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学の理解と実践ができるようになる。 ①	資料配布	講義を通して感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	他者を肯定的にカウンセリングサポートして行く技法を習得する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学の理解と実践ができるようになる。 ②		講義を通して感じたこ

15 回	百 形 式	各コマに おける 授業予定	他者を肯定的にカウンセリングサポートして行く技法を習得する。	資料配布	と、疑問に思ったことを考える。
---------	-------------	---------------------	--------------------------------	------	-----------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学の理解と実践ができるようになる。③	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	勇気づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術を、ワークをどうして学ぶ。		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学の理解と実践ができるようになる。④	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	勇気づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術を、ワークをどうして学ぶ。		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学の理解と実践ができるようになる。⑤	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	勇気づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術を、ワークをどうして学ぶ。		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	色彩心理 ① 色の機能的役割と感性的役割の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	色には人の感情を動かす力があることを感じる。色の機能的役割と感情的な役割について、具体的な事例を通して理解する。		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	色彩心理 ② 色の機能的役割と感性的役割の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	色には人の感情を動かす力があることを感じる。色の機能的役割と感情的な役割について、具体的な事例を通して理解する。		
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	色彩心理の理解と実践ができるようになる。③ 実習編	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	常にある感覚について、各自がカラーカードで配色を作り、イメージと色を結びつけると共にさらにイメージを膨らませます。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	カラーカード連想ワーク ① ナラティブセラピーの理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	カラーカードワークを被験者と支援者の両面から体現することで、色を通して自己探索とともに傾聴の基本的態度を学ぶ。色の持つ力、記憶と感情の関係、ナラティブセラピーについて理解する。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	カラーカード連想ワークの理解と実践ができるようになる。② 実習編	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	チームに分かれて各自テーマに合わせたカラーカードを選ぶ色を通して言語化することで自己探索を行うと共に、シェアリングで感情の共有、更なる感動と意味の再構築を導く。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー講座 ① 心と体の理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	植物療法の中のアロマセラピーを学ぶ。歴史、メカニズム、精油について。精油の選び方、楽しみ方、注意点等。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー講座 ② 心身への働きと実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	精油が脳・解剖心理学へ作用する経緯・ルートを学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマテラピー講座 ③ メディカルハーブの理解と実践ができるようになる。	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	薬草を使ったもう一つの植物療法を学ぶ。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な心理療法や心理テストに触れ、理解と説明が出来るようになる。①	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	様々な心理療法・心理テスト		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な心理療法や心理テストに触れ、理解と説明が出来るようになる。②	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	様々な心理療法・心理テスト		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な心理療法や心理テストに触れ、理解と説明が出来るようになる。③	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	様々な心理療法・心理テスト		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な心理療法や心理テストに触れ、理解と説明が出来るようになる。④	資料配布	講義を通して、感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	様々な心理療法・心理テスト		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			